



◆明治元年の新聞



「もしほ草 四 (自第十六篇至第二十篇) (横浜新報) 1868年 (明治元)

『もしほ草』は、米国人ヴァン・リードが岸田吟香（洋画家岸田劉生の父）と共同で横浜の居留地から発行した新聞です。

紹介している部分は、「神戸よりきたりしはんじもの」です。当時、戊辰戦争の最中であること踏まえて、ペリー来航からの幕末の動乱を米国人の視点で滑稽に描いています。

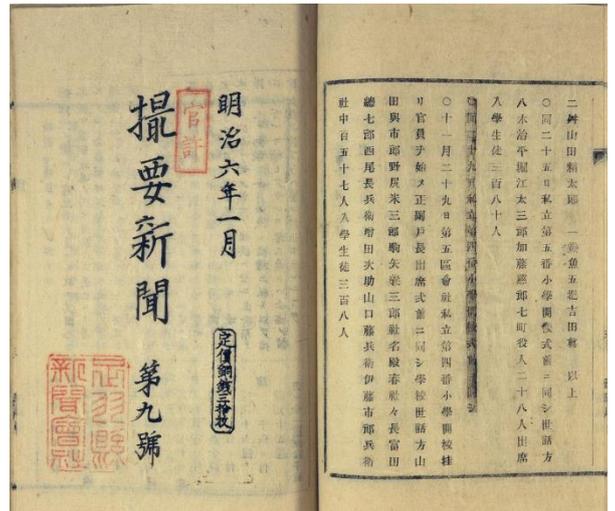
松平文庫に残されていることから幕末の福井藩が国内外の情報収集に積極的であったことの一つの証拠ともいえます。

◆福井で最初の新聞

『撮要新聞』は、1872年 (明治5) 8月に創刊された福井県で初めての新聞で、表紙以外は活字で印刷されています。

元福井藩士で足羽県権大属・学校掛富田厚積 (鷗波) が編集したもので、県内外、国外の記事を広く取り上げています。

「新聞新説投示ノ御方ハ〜御差出…」とあり、既に投書を求める記述があることも注目されます。



「撮要新聞 第九号」(1873年 (明治6) 1月)

◆ (第一次) 福井新聞



「福井新聞 48号」(1882年 (明治15) 1月4日)

『福井新聞』と呼ばれる新聞は、明治期を通じて4回創刊されていますが、これはその最初のものにあたります。主筆として大阪で立憲改進黨の機関紙において活躍していた元福井藩士の山本鏘二が招かれました。

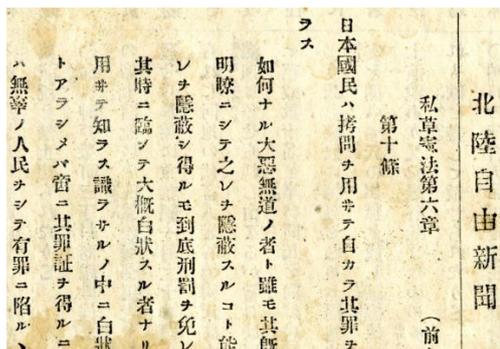
福井県置県後間もないこともあり行政の整備に関わる記事がみられます。1月6日の第1面では、前年の主なできごとの一つとして、県庁の新築落成を紹介しています。

◆憲法案を掲載した新聞

『北陸自由新聞』は、1882年(明治15)12月10日、南越自由党の機関紙として杉田定一により創刊され、翌年4月、83号まで刊行されました。

最大の特徴は、社説欄に私草憲法(民間でつくられた憲法案)の一部が掲載されていることです。内容は改進黨系の諸案に由来しています。

自由党系の南越自由党の機関紙に改進黨の憲法案を掲載した杉田の意図は、同紙によって、北陸での党を越えた自由民権派勢力を結集させることを狙ったと考えられます。



「北陸自由新聞」  
(1883年(明治16)3月31日)

◆日清戦争の勝報を届けた新聞

『福井』は、1892年(明治25)2月から1896年(明治29)8月まで刊行された新聞です

左の記事は10月28日の日清戦争の勝報を伝えるものです。このような戦況の報告とともに県内での軍資献金や物品献納のようすなども掲載しています。

現在のようなニュース、速報を中心とした新聞(中新聞)はこの時期に形づくられました。



「福井」(1894年(明治27)10月28日)

◆(第四次)福井新聞

現在まで続く『福井新聞』は、1899年(明治32)8月28日に創刊されました。

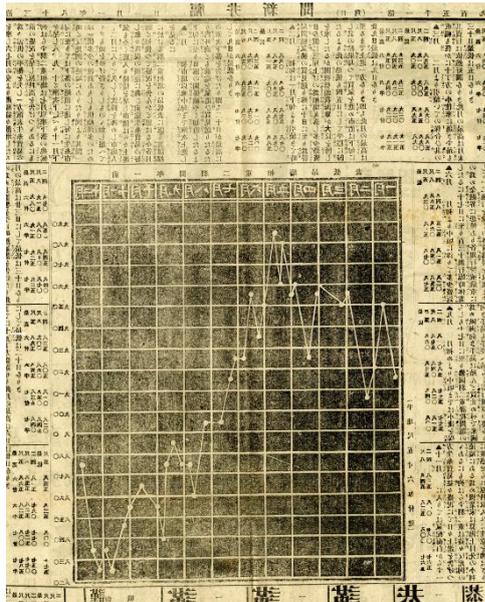
敦賀一福井間の鉄道開通(明治29年7月)、福井測候所による天気予報の開始(同31年1月)、宿布発電所からの送電開始(同32年5月)、福井銀行の創業(同32年12月)などとあわせ、福井県内での文明開化が一段と進んだ時期での刊行でした。

右は1901年(明治34)12月25日号1面に掲載された新年号の付録の予告です。このような付録も読者の拡大に一役買うことになります。



「福井新聞」  
(1901年(明治34)12月25日)

## ◆明治 38 年の福井新聞



「福井新聞」(1905年(明治38)1月1日)

当時、日露戦争の最中であったため、戦局に関する記事が多くみられます。また福井の産業として根付きつつあった羽二重業についても紙面の多くが割かれています。左は1904年(明治37)の1~12月の羽二重相場表です。

松方デフレから脱却した1886年(明治19)以降、急速な近代工業の発達が見られましたが、福井においては輸出向け羽二重製織がめざましい発展を遂げました。1902年(明治35)には絹織物生産額が京都府に次いで第2位になっています。

## ◆明治最後の年に刊行された新聞

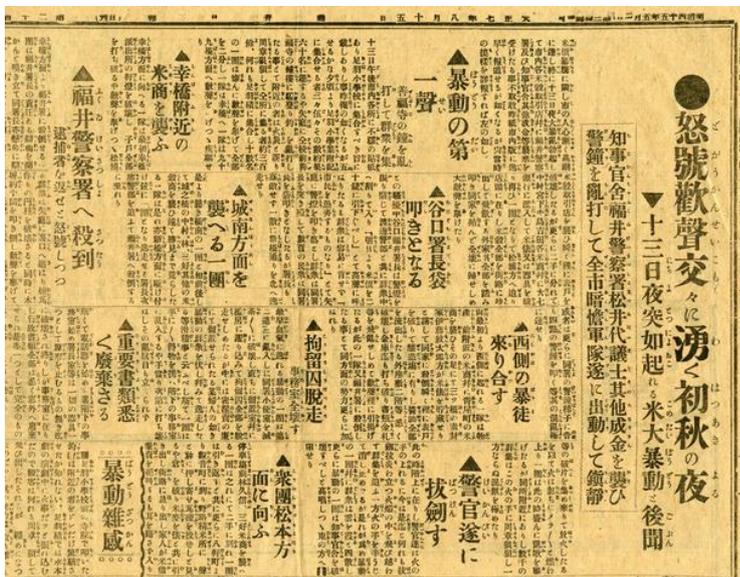
『福井日報』(正確には第二次~)は、1912年(明治45)5月2日に創刊されました。同年の県内の大きな出来事としては福井市で3月から公営事業としてガス事業が始まったことが挙げられます。左の記事は6月10日のガス事業の開業式に関するものです。

また、明治天皇の健康状態の悪化とともに県内においても平癒を願う祈祷が神社・仏閣で行われたり、見舞の電報の打電や興行が中止となったりするなどの影響があったと記事に紹介されています。7月30日、天皇は崩御し、明治は終わりを迎えました。



「福井日報」(1912年(明治45)6月10日)

## ◆米騒動を伝えた新聞



「福井日報」(1918年(大正7)8月15日)

1918年(大正7)7月から9月にかけて、米騒動が全国的規模で起こりました。福井市でも8月13日に米騒動が起こっています。15日の『福井日報』では全4面の紙面の大半が米騒動の記事となっています。3面では福井市の状況を報じています。

一部の若者たちにより釣鐘が乱打されたことで火災と勘違いし、足羽河原に集合した群衆は暴徒と化し、米穀店や知事公舎、官公署などを襲撃しました。



霞ヶ城「越山若水（行啓記念写真帖）」



小舟渡舟橋「越山若水（行啓記念写真帖）」



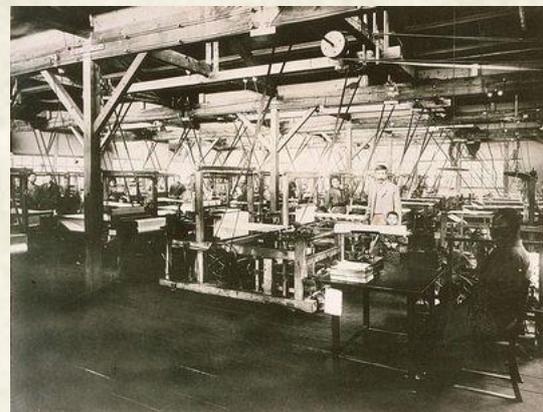
工業試験場「越山若水（行啓記念写真帖）」



福井市立商業学校「行啓記念写真帖」(※1)



黒川精練工場「行啓記念写真帖」(※1)



野澤屋模範工場「行啓記念写真帖」(※1)

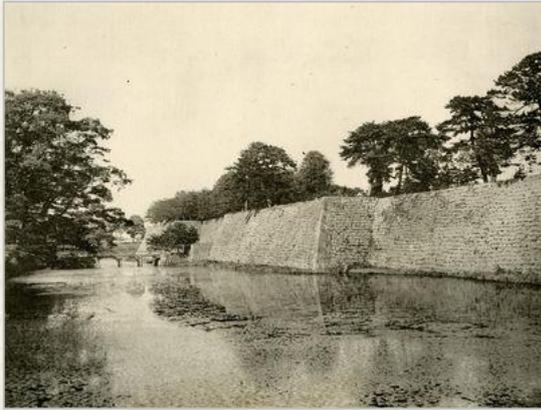


福井中学校「越山若水（行啓記念写真帖）」



福井県庁「越山若水（行啓記念写真帖）」

(※1) 福井市立郷土歴史博物館蔵



福井城址「越山若水（行啓記念写真帖）」



福井市役所「行啓記念写真帖」(※1)



グリフィス博士旧客館「福井城下古写真」(※1)



浜町時鐘所「福井城下古写真」(※1)



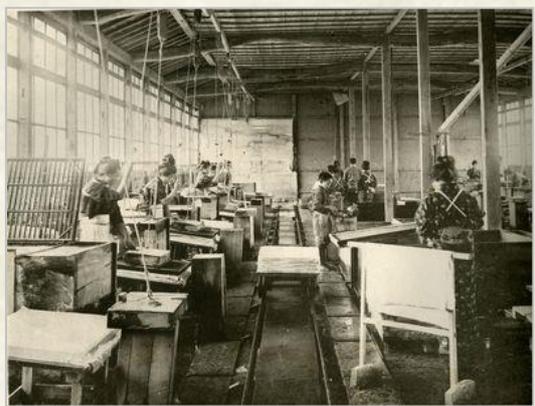
九十九橋「越山若水（行啓記念写真帖）」



足羽山公園「行啓記念写真帖」(※1)

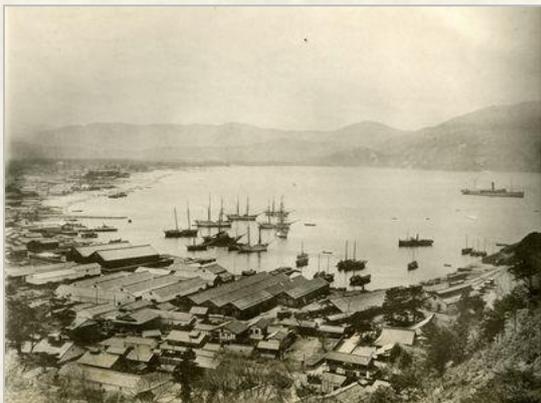


鯖江兵営「越山若水（行啓記念写真帖）」

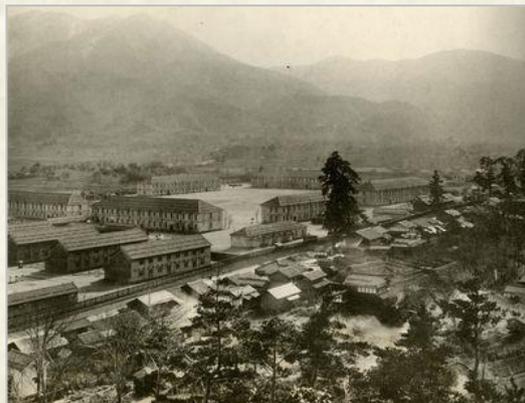


岡本村製紙場「越山若水（行啓記念写真帖）」

(※1) 福井市立郷土歴史博物館蔵



敦賀港湾「越山若水（行啓記念写真帖）」



敦賀兵宮「越山若水（行啓記念写真帖）」



万象閣「福井県敦賀郡名所古跡写真帖」(※2)



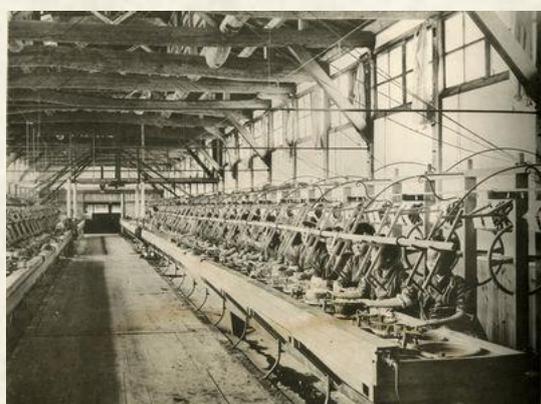
敦賀停車場「福井県敦賀郡名所古跡写真帖」(※2)



松原公園「福井県敦賀郡名所古跡写真帖」(※2)



色ヶ浜「福井県敦賀郡名所古跡写真帖」(※2)



雲浜蚕糸株式会社繰糸工場  
「越山若水（行啓記念写真帖）」



鯰大敷網魚業場「越山若水（行啓記念写真帖）」

(※2) 敦賀市立博物館蔵

## 展示資料一覽

### 新聞

資料名	年代	資料群 (所蔵)	備考 (資料番号等)
「もしほ草 四(自第十六篇至第二十篇)(横浜新報)」	1868年(明治1)	松平文庫(福井県立図書館保管)	A0143-00501
「撮要新聞 第九号」	1873年(明治6)	杉本新助家文書	C0128-00001-011
「福井新聞 48~69号」	1882年(明治15) 1月	福井新聞社文書(当館蔵)	A0178-00001-001 ~022
「北陸自由新聞」	1883年(明治16) 3月31日	宗石良雄家文書	C0045-00049
「福井」	1894年(明治27) 10月28日	(福井県立歴史博物館蔵)	
「三国交渉朝鮮絵報(第2集)」	1894年(明治27) 8月4日	勝見宗左衛門家文書(当館蔵)	B0037-00626
「福井新聞」	1901年(明治34) 12月25日	(福井県立歴史博物館蔵)	
「福井新聞」	1905年(明治38) 1月1日	(近代日本法政史料センター 明治新聞雑誌文庫蔵)	
「福井日報」	1912年(明治45) 6月10日	(近代日本法政史料センター 明治新聞雑誌文庫蔵)	
「福井日報」	1918年(大正7) 8月15日	(近代日本法政史料センター 明治新聞雑誌文庫蔵)	

### 写真

資料名	年代	資料群 (所蔵)	備考 (資料番号等)
「福井城下古写真」	明治初期	(福井市立郷土歴史博物館蔵)	パネル展示
「(荒川邦蔵知事、山田卓介、市橋保治郎、熊谷五右衛門等県会議員集合写真、撮影:福井市勝木館)」	1894年(明治27) 2月28日	伊藤三郎左衛門家文書(当館蔵)	I0058-00349
「(伊藤淳、大橋松次郎、藤野市九郎他3名福井県会議員写真)」	1903年(明治36) 5月	伊藤三郎左衛門家文書(当館蔵)	I0058-00304
「福井県敦賀郡名所古蹟写真帖」	1909年(明治42)	(敦賀市立博物館蔵)	
「行啓記念写真帖」	1909年(明治42)	(福井市立郷土歴史博物館蔵)	パネル展示
「越山若水(行啓記念写真帖)」	1910年(明治43)	加藤竹雄家文書(当館蔵)	A0052-01441

※写真は展示当初のものを掲載、期間中に随時入替の予定

## 平成29年度福井県文書館企画展示リーフレット

平成30年1月26日発行 編集・発行/福井県文書館  
題字 小谷 寛幸



福井県文書館  
918-8113 福井市下馬町51-11  
TEL 0776-33-8890  
FAX 0776-33-8891  
E-mail bunshokan@pref.fukui.lg.jp

